

足利税務署

(事後評価)

資料 3 - 3
関東地方整備局
事業評価監視委員会
(平成18年度第2回)



平成18年9月11日 国土交通省関東地方整備局

事業概要

旧税務署の状況

◆ 老朽化

→S40年建築(建築後36年経過)

◆ 狭隘化

→必要延面積の5割程度
(延べ面積:960m²)

◆ 駐車場の不足



※ 市からの要望 → 市有地との交換

税務署敷地は、周囲を市の建物で囲まれていることから、今後、施設の改築等を考えた場合、是非とも必要

事業概要

位置図



施設概要

- ◆敷地面積：約2,640m²
- ◆総延面積：約1,859m²
- ◆構造：RC-3外
- ◆設計：平成14年6月～平成15年2月
- ◆工期：平成15年2月～平成16年3月
- ◆総事業費：約5.8億円

計画の妥当性

利用者の利便性向上

【アンケート結果】(外来者(52人))

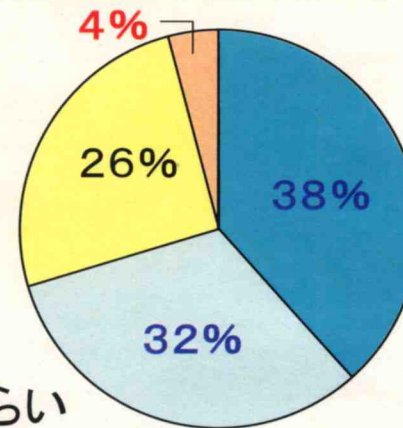
Q. この施設は利用しやすいか

○ 利用しやすい(70%)

- ・案内が行き届いている
- ・ゆったりしている

× 利用しづらい(4%)

- ・駐車場からの入口までが分かりづらい



- 利用しやすい
- まあ利用しやすい
- どちらともいえない
- あまり利用しにくい
- 利用しにくい

※ 調査日:平成17年8月



計画の妥当性

執務環境の向上

【アンケート結果】(職員(36人))

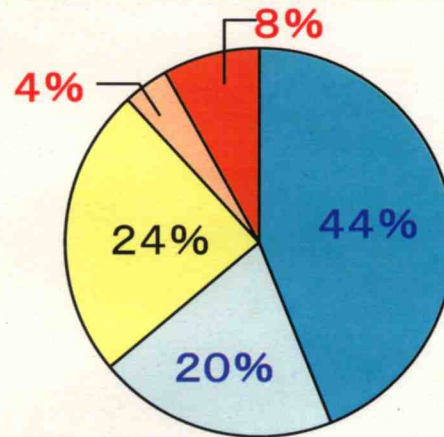
Q. 執務環境は向上したか

○ 向上した(64%)

- ・ 執務室に開放感がある
- ・ 内装の感じがよい

× 向上していない(12%)

- ・ 収納スペースに不満



- 向上した
- まあ向上した
- どちらともいえない
- あまり向上していない
- 向上していない

※ 調査日:平成17年8月



付加価値の付与1 (まちづくりへの貢献)

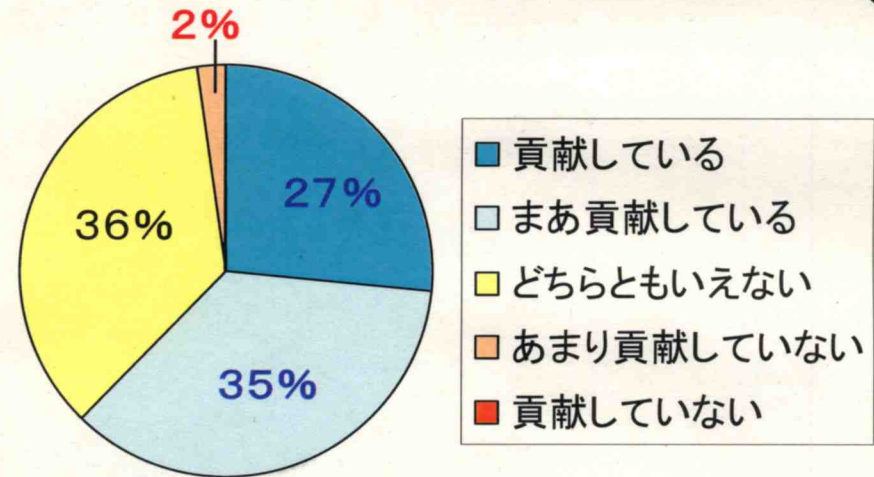
【アンケート結果】(外来者(52人))

Q. 良い街並みづくりに貢献しているか

○ 貢献している(62%)

- ・開放感のある造りや建物周りの植栽が周辺環境と調和している
- ・現代的な外観がこの地区のシンボルとなっている

× 貢献していない(2%)



付加価値の付与2

(環境への配慮)

◆電気設備関係

- ・点灯時間制御等による省エネルギー化
- ・エコケーブルの採用

◆機械設備関係

- ・環境負荷の少ないものの採用
- ・リサイクル可能な資機材の採用

事業の効果

■費用対効果

(単位:百万円)

	項目	種別	効果
効果	土地有効利用	土地処分益	140
	利用者の利便	立地の改善	200
		建物性能の向上	707
	安全の確保	事故・災害の縮小	75
	環境への配慮	地球環境保全への寄与	1
	その他	規模の改善	6
総効果(B)			1,128

(単位:百万円)

	項目	種別	費用
費用	初期費用	建設費	627
		企画・設計関係費	37
		土地取得費	140
	維持修繕費	—————	117
総費用(C)			920

$$\text{費用対効果(B/C)} = \underline{1.22}$$

■その他の効果

- ・ 狭隘解消による執務環境の向上
- ・ 周辺環境を考慮した設計により良い街並みづくりに貢献

今後の対応方針(案)

当初計画の目的としては概ね達成できている。今後、定期的に庁舎の実態調査を行い、利用者の利便性を確保しつつ経年などによる業務能率の低下等を招くことのないよう、保全指導や適切な時期に改修等を実施していく。